



発行責任者 病院長 岡野友宏
編集責任者 広報委員長 高橋浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1 TEL 03-3787-1151
ホームページ: <http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

「歯科医療の悩みどころ」

美容歯科 科長 真鍋 厚史

民主党の鳩山政権になって、はや3ヶ月がたちました。今回の与党政策では羽田空港のハブ化案や税金の無駄使いの洗い出しなど、行政刷新会議でかなりスピーディーに話し合いがなされているように思えます。我々医療人としての注目すべき話題は来年度の保険改正に向けての具体案が気になるところです。今回の政府案では医療費予算の増額も示唆されているようで高齢化、少子化の社会現象を鑑みた対策に思え非常に期待しております。政府も私たち医療従事者も患者様のためにより良い医療の提供をしようと思っているのは間違いありません。

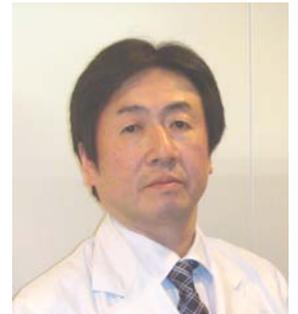
日本の国民皆保険医療制度の歴史は古く、多くの患者様がこの制度に助けられていると言っても過言ではありません。一方医療技術の進歩もめざましく特に歯科医療関係ではインプラント治療やCAD/CAMを用いたセラミックによる修復治療などたくさんの新技術が開発、導入されています。しかしながらこのような治療新技術は患者様に対する安全性などを十分検討しなければ保険医療に適用されません。もちろん厚生労働省がある特定疾患や一部の口腔内部位に限って認可しております。これはごく限られた患者様にだけということになります。

我々医療人は多くの患者様に、このような先進医療を適用し、さらに良い口腔内環境を提供したく、保険診療で賄える治療と先進医療を組み合わせる診療に取り組みたい場合が多々あります。残念ながらこのような診療体系はいわゆる混合診療として国家は認めてはいません。言い換え

ば最初に保険診療で治療を始めた場合はその疾病が治癒するまでは保険診療のみで行わなければなりません。なぜ?と思われる方も少なくないと思います。厚生労働省に質問しても統一見解はありません。答えは「医療従事者は患者様に対してより良い医療を提供して下さい。」としか返ってきません。非常に曖昧、グレーゾーンな解答です。数学のようにきちっと答えが出ないのは患者様、個人個人違うからで何となく理解もできます。日本語は英語とは違い美しい言い回しや表現の仕方が数多くあります。これは聞き手にとって豊かな気持ちになる反面、後で考えると何を言っていたのだろうと煙に巻かれた気持ちにもなります。

歯学部学生の教育も同様に立派な歯科医師を育てる上で指導医のもと実地訓練をしなければ卒業もできず国家試験も通りません。国家試験に合格した歯科医師が実地訓練をしていくのなら理解できます。歯科医療の特性上卒前に簡単な診療には従事できるようになることが卒業、国家試験合格の条件です。何か曖昧でグレーゾーンです。国家の政策案も同様なことかもしれません。国家の打ち出すマニフェスト答申案をよく吟味、理解し煙に巻かれぬよう注意するように心がけたいものです。

毎年師走は特に浮き足立った季節です。ケアレスミスなどがないように無事今年を終えることを希望しております。



美容歯科 紹介

平成16年9月に、国内の大学歯学部で初めて「美容歯科」として診療科を立ち上げ、「綺麗な口元になりたい」という訴えをもつ患者様の治療をおこなっております。診療科内は、プライベートに配慮した個室ユニットとなっており、患者様の希望や悩みをゆっくり相談できるようになっています。美的意識の違いからか女性の患者様が多く来院されますが、近年男性患者様も増加したように感じます。

一般に「綺麗な口元」とは、どのようなものでしょうか？歯の色が白いこと？歯並びが整っていること？歯茎がピンク色であること？…患者様とお話するたびに考えさせられることです。まず、我々歯科医師の立場からみると、健康な口元(顎、歯、歯肉を含む)で、おいしく食事ができなければいけません。これに加え、「綺麗」にすることが目的となります。

患者様ひとりひとりの顔が違うように、口腔内にも個性があり「綺麗なこと」が違います。我々美容歯科では患者様の個性にあった「美しさと健康」をともに考え実現することを目指しております。また、医療系の総合大学であることを生かし、医科の整形外科や皮膚科、歯科の歯科矯正科や補綴科などとの連携をはかり、専門医の協力を得て総括的な診療を行っております。

治療内容は、専門家による機械的歯面清掃(PMTC)、各種ホワイトニング、歯の色と形を再現するセラミックやコンポジットレジンによる治療など様々です。各種検査結果をもとに、専門医の見解を参考に、診断および治療計画を作ります。患者様の状態により治療期間が年単位の長い期間になる場合もあります。

歯科材料の進化したこと、口腔内の美意識の向上、金属アレルギーの増加などから、従来のように金属を使った「銀歯」ではなく、歯の色で治療する「メタルフリー」の治療が多く行われるようになっていきます。

審美的材料の変化には、従来のセラミック成分より強度が向上したジルコニアの登場により、欠損部のあるブリッジなどにも対応できるようになったこと、CAD/CAMシステムが開発され、今まで手作業でしか作れなかったセラミック修復物の一部がコンピュータ上で設計、製作できるようになったことなどが挙げられます。

また、虫歯の治療で使用されているコンポジットレジンも、近年、より審美的材料として進化してきました。現在では専門的なテクニックを用いる事で治療した跡がほとんどわからない程、芸術的な治療が可能な世界へと変わってきています。



美容・矯正・インプラント科で連携した症例



コンポジットレジン修復



美容歯科医局員

現在、美容歯科科長真鍋厚史教授を中心に医局員4名、大学院7名、歯科衛生士1名を中心に研究生十数名を加え診療や研究にあっています。スタッフ一同、患者様の立場や個性にあった診療や技術の向上を目指し日々努力しています。また、進化する歯科材料の性質や安全性の研究、今後の歯科業界を担うであろう学生の教育にも力を入れております。
(助教(員外) 中馬宏子)

歯科医療最前線:「インプラント補綴のシミュレーションソフト」(前編)

歯科補綴科・講師(インプラントセンター兼任) 樋口 大輔

歯が欠けたり、無くなってしまった場合にはクラウン(かぶせ物)や入れ歯などで補う必要があります、これを補綴(ほてつ)と呼びます。古くは紀元前2,000年~1,000年のエトルリア人の墓地から発掘された入れ歯があり、日本でも奈良時代から入れ歯があったといわれていますので、昔から行われてきた治療法といえます。

詳しくは、社団法人日本補綴歯科学会のホームページ(<http://www.hotetsu.com/p2.html>)をご覧ください。

最近ではインプラント(人工歯根)を用いた補綴方法も多く行われるようになってきました。インプラントを行う場合には様々な検査が必要ですが、その中でもCTと呼ばれるX線検査は必要不可欠です。CTは図1のような写真として確認することができますが、患者さんには少し解りづらいかもかもしれません。

そこで私たちは、インプラントを用いた補綴治療を行う際にはコンピュータ(インプラントのシミュレーションソフト)を用いて、患者さんのあごの骨を立体的に再現した三次元像を作り、より分かり易い説明を心がけております。なお、この作られた三次元像をシミュレーションモデルと呼びます(図2)。

シミュレーションモデルでは立体的に骨の状態を確認することができるため、インプラントを埋め込む場所、インプラントの大きさ(図3、4)、最終的に人工の歯を並べる位置(図5)などを私たちが検討し、さらに患者さんにも分かり易く説明することが可能になりました。また、より安全にインプラント治療を行うこともできます。

どの治療法を行う場合にも、患者さんに十分に説明を行うことはとても大切なことです。インプラントシミュレーションは患者さんの理解を得るために有効な方法であると私たちは考えており、多くの患者さんにも理解しやすいとご意見をいただいております。

今回はこのインプラントのシミュレーションソフトを使った、より侵襲の少ない(傷口が小さく、腫れも少ない)治療法をご紹介します。

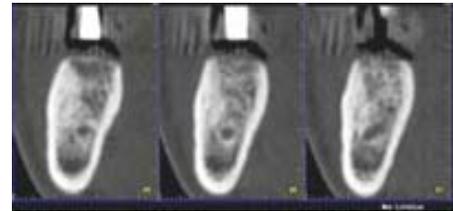


図1:CT写真のイメージ

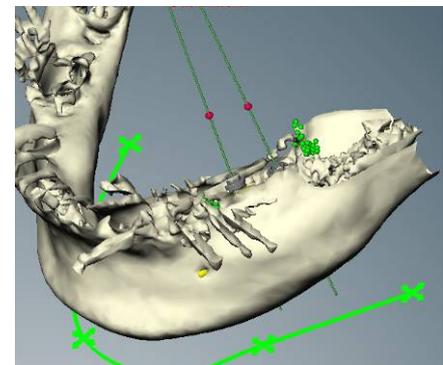


図2:シミュレーションモデル

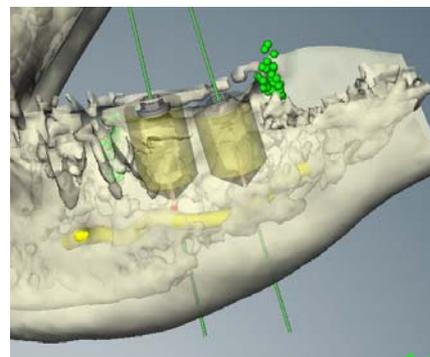


図3:インプラントの位置などを立体的にイメージ

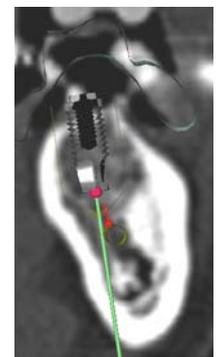


図4:インプラントの位置などを平面的にイメージ

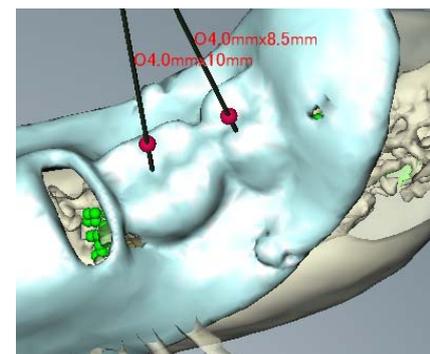


図5:最終的に人工の歯を並べる位置もイメージできます

お口の健口外来 紹介

近年、「未病」という言葉を見聞きします。病気ではないけれども何らかの身体の変化を見過ごさずに早期発見、早期治療を行う事により病気を防ごうということですが、歯科においても予防を重視する傾向が強くなっています。

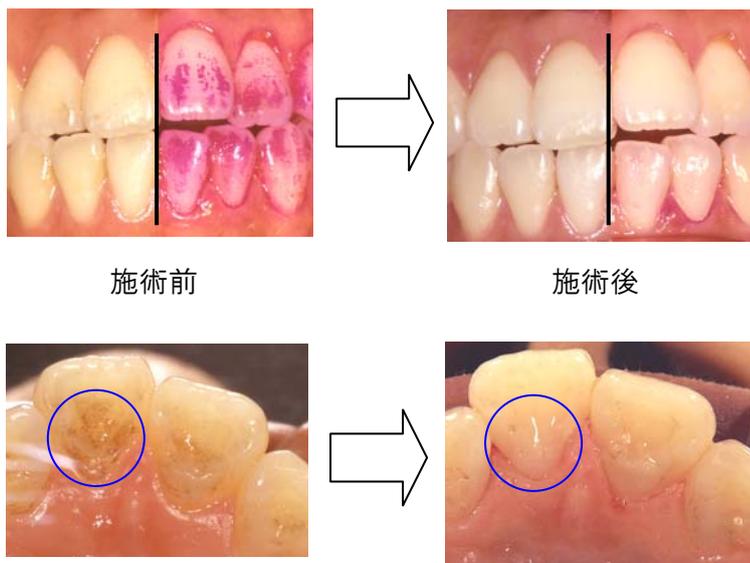
お口の健康維持にも、虫歯や歯周病などの口腔疾患の治療と予防が重要になります。そして、予防には歯科疾患の要因である口腔内細菌の数、食事環境(内容、時間等も含む)、嗜好品などのコントロールが必要不可欠です。特にお口の健康には口腔内を清潔に保つことが重要なポイントになります。

「お口の健康外来」では、患者様のお口の健康サポートの為に、基本的な内容として「口腔衛生指導」「歯石除去」「ステイン除去(ヤニ、茶渋など)」「フッ化物塗布」「歯面清掃(PMTC)」などの処置を、各診療科からの依頼で歯科衛生士が行なっています。虫歯の予防や歯周病のメンテナンスのほかに手術前後の口腔清掃なども行なっています。

専門的な歯面清掃の効果は、口腔内のさっぱり感はもとより完全に歯垢を除去することにより、歯垢の再付着を防ぎます。また、ご自分のブラッシングだけでは歯垢を除去しきれない場合においても写真に示すように、専門的な歯面清掃を行う事できれいに落とすことが出来ます。他に煙草のヤニや茶渋などの着色も同様に落とすことが出来ます。これらの着色は一度ついてしまうと取れにくくなってしまいますので定期的な受診をお勧めします。

個々に行う日常のブラッシングがお口の健康の鍵となります。「お口の健康外来」では健康維持の為に口腔状態にあった具体的な口腔清掃方法のアドバイスも行なっています。

* 内容により健康保険の適応外のものもあります。



施術前

施術後



お口の健康外来は診療棟3階東診療室にあります。

歯科衛生士:松原こずえ、小川郁美、日山邦枝

協力歯科医師:伊藤和雄准教授、谷千尋講師、長井嘉孝助教(員外)

(歯科衛生士室長 日山邦枝)

年末年始の外来診療休診日について

平成21年12月29日(火)から平成22年1月3日(日)までの外来診療を休診といたします。
なお、平成22年1月4日(月)の外来診療は、午後3時までといたします。(診療受付は午後2時までです。)

編集後記

師走の慌ただしい時期を迎え、皆様も何かとお忙しいことと思います。どうぞ体調管理にお気をつけ素晴らしい新年をお迎え下さい。

(K.T)

